

藤沢記者クラブ各位

令和7年観光客数が2年連続で2,000万人超え！

～藤沢市年間観光客数及び観光消費額は過去最高～

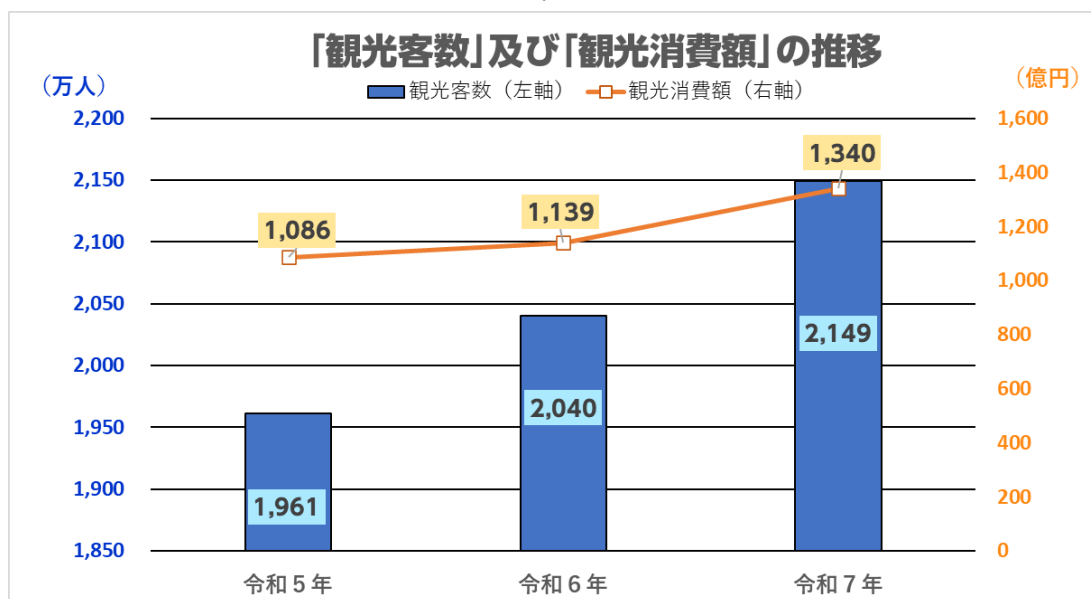
令和7年（1月～12月）の藤沢市の年間観光客数は、2,149万人（前年比約109万人増）となりました。

主な要因として、例年多くの観光客が訪れる4月から9月の天候が良好であったことや、海水浴客の増加、さらには国全体の訪日外国人観光客数が増加傾向であったことなどの影響を受け、令和6年（2,040万人）から約5%増加し、統計以来、過去最高となった前年の観光客数及び観光消費額をいずれも上回りました。

〈年間観光客数及び消費額（いずれも推計）比較〉

区 分	令和5年	令和6年	令和7年	対前年比		
観光客数（人）	19,608,486	20,401,274	21,490,864	1,089,590	105%	
内訳	1～3月	3,952,016	3,859,920	4,032,535	172,615	104%
	4～6月	3,697,130	4,144,621	4,308,879	164,258	104%
	7～9月	6,666,892	7,101,916	8,210,521	1,108,605	116%
	10～12月	5,292,448	5,294,817	4,938,929	△355,888	93%
消費額（円）※	108,576,627,095	113,852,575,491	134,029,409,434	20,176,833,943	118%	

※消費額は、宿泊費、飲食費、レジャー費、お土産代を推計し、合計して算出したもの。



観光客数及び消費額の変化の主な要因は裏面をご覧ください。

＜観光客数の主な増減要因（4半期ごとの推察）＞

1月～3月	2月は晴天が続き、天候に恵まれなかった前年同月と比較し大幅に増加（前年同月比16%増）したことから、全体としては、 前年比4%増 となった。
4月～6月	5月は梅雨前線の影響などから、降雨量が多く、前年比微減となったが、4月・6月の各月ベースでは、いずれも前年を上回り、また、6月の平均気温が高く天候が良好だったことや訪日外国人観光客数が非常に多く、本市においても取り込むことができたことと推察されることなどから、 前年比4%増 となった。
7月～9月	本市の7・8・9月の各月ベースでは、いずれも前年を上回り、全体的に天候が良好で、本市の大きな観光誘客の要素の一つである海水浴客数が、前年比19%増と県内外の海水浴客を取り込むことができたこと、4月～6月に引き続き、国内に訪れる外国人観光客を取り込むことができたことなどが推察され、 前年を大きく上回る16%増 となった。
10月～12月	10月・12月は天候に恵まれず、多くの施設で前年比減となった。特に12月のクリスマス前後の天候が不良だったため、 前年比7%減 となった。

＜観光消費額の主な増要因（推察）＞

- ・宿泊者の飲食費以外について、レジャー費、お土産代、宿泊費等の物価上昇などにより単価が上がったことで増加した。

その他の資料については、別紙をご覧ください。

